



学びの高嶺

校訓 感謝・努力・友愛

北九州市立高見中学校
学校だより 第3号
令和5年4月28日(金)
校長 若松 英昭

『部活動発足式』

4月20日に部活動発足式が行われました。1年生も正式に入部し、1年生から3年生までそろってよいよ活動が始まりました。

初めに校長から生徒の皆さんに①部活動の意義について、②部活動に取り組む心構え、③先生方や保護者の方についての3つの話をしました。

①部活動を通して、または、大会やコンクールを通して、心と体を鍛え、仲間を大切にすることを学ぶことが一番の目的です。決して、勝利至上主義の部活動は行いません。大会で優勝したい、コンクールでよい成績を取りたいということを目指にすることはよいことですが、部活動の目的はそこではなく、自分の体を鍛え、仲間を大切にすることを大きくしていくこと本当の目的としてほしい。

②部活動に取り組む心構えとして、時間を有効に使う。限られた時間をどのように使うかしっかりと自分たちで考えて練習に取り組み、いろいろと試してみることが大切です。そして、基本を大事に、あたりまえのことを徹底して行う。そして、部活動で学んだ事を学校生活や普段の生活に生かしていきましょう。

③先生方も、普段の仕事は5時までです。土日は休みです。5時以降の練習や土日の練習・試合等の引率は、ボランティアです。部活動を頑張る生徒のために部活動の顧問を持ってもらっています。顧問の先生に感謝の気持ちをもって取り組んでください。(高見中の先生方は頑張る生徒を応援します!)部によっては、保護者の方に大会やコンクール等でいろいろとお世話になっていると思います。常に感謝の気持ちを忘れないでください。

次に、部活動の決まり等について上野先生から説明がありました。その後、各部活動ごとに分かれての顔合わせとなりました。

<各部の部員数>

| | | | | | |
|--------|-----|--------|-----|---------|-----|
| バレー部 | 22名 | サッカー部 | 17名 | 野球部 | 22名 |
| 男子テニス部 | 18名 | 女子テニス部 | 20名 | 卓球部 | 8名 |
| 合唱部 | 17名 | 美術部 | 23名 | スポーツクラブ | 18名 |



部活動の決まり等について
上野先生からの話



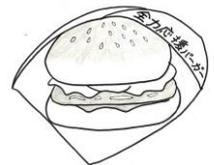
女子バレーボール部



美術部



男子ソフトテニス部
1年生も早速練習



令和5年度子ども読書の日

4月21日(金)に、「子ども読書の日」の取組を行いました。

【「身近に本、気軽に読書」の環境づくりを行い、生徒のみなさんが積極的に読書活動を行う意欲を高めるようにする】ことを目的に、1人1枚自分で読んだ本の紹介のしおりを作成しました。

出来上がったしおりは、ラミネートし、学級ごとに模造紙にはり、図書室前に掲示されます。

さて、子ども読書の日だからではないのですが、私が今読んでいた本が「読書する子は〇〇がすごい」(著者:榎本博明 発行:日経 BP 日本経済新聞出版本部)でした。読書をすることでどのような効果があるのかデータ等をもとに書いてあり、なかなか興味深い本です。生徒の皆さんはもちろん、保護者の皆さんにもお勧めです。一部抜粋して紹介します。(p88~p90)

読書の効果に関する研究では、語彙が増えること以外に、間接経験が増えることが指摘されている。ひとりの子が自分自身で経験できる事には限りがある。読書することで、その限界を超えることができる。

たとえば、自分の現実の生活ではできないような冒険をすることができる。家と学校の往復だけの生活ではできないような、ワクワクする経験ができる。冒険ものやファンタジーなどにはまる子が多いのも、ワクワク体験を味わえるからだろう。

冒険ものやファンタジーに限らず、読書することで日頃身近に触れることのない動物や昆虫、植物について何らかの知識を得たり、行ったことのない土地について何らかの印象をもったり、歴史上の出来事についても、まるでその時代に生きていたかのような経験を味わったりすることができる。

本の中の世界に浸ることで、現実接することのないとても魅力的な人物に触れたり、現実にはあまり親しいつきあいがなくても行動を共にする仲間たちの世界に身を置いたりすることができるということもある。主人公をはじめさまざまな登場人物の人柄や人生に触れることで、世の中にはいろんな人がいるということが実感できる。こんなふうを考える人がいるんだ、こんなふうを感じる人がいるんだなど思うことで、人に対する想像力が働くようになる。

こうした経験は、心の中の世界を広げてくれ、現実生活における判断力の向上にもつながっていく。さらには、読書によって知的好奇心が刺激され、さまざまなことに興味をもつきっかけを与えられる。それは、当然ながら知的発達を促すはずだ。

実際、各種調査データをみても、読書と知的発達の間には正の相関関係が見られる。つまり、読書をよくする子どもの方が学力が高い、読解力が高い、思考力が高い、学習意欲が高い、などといったデータがみられる。



本の紹介文を作成中



色鉛筆で表紙を模写



真剣に取り組んでいます